

# 紙カルテ電子ファイリング



楽2ライブラリ

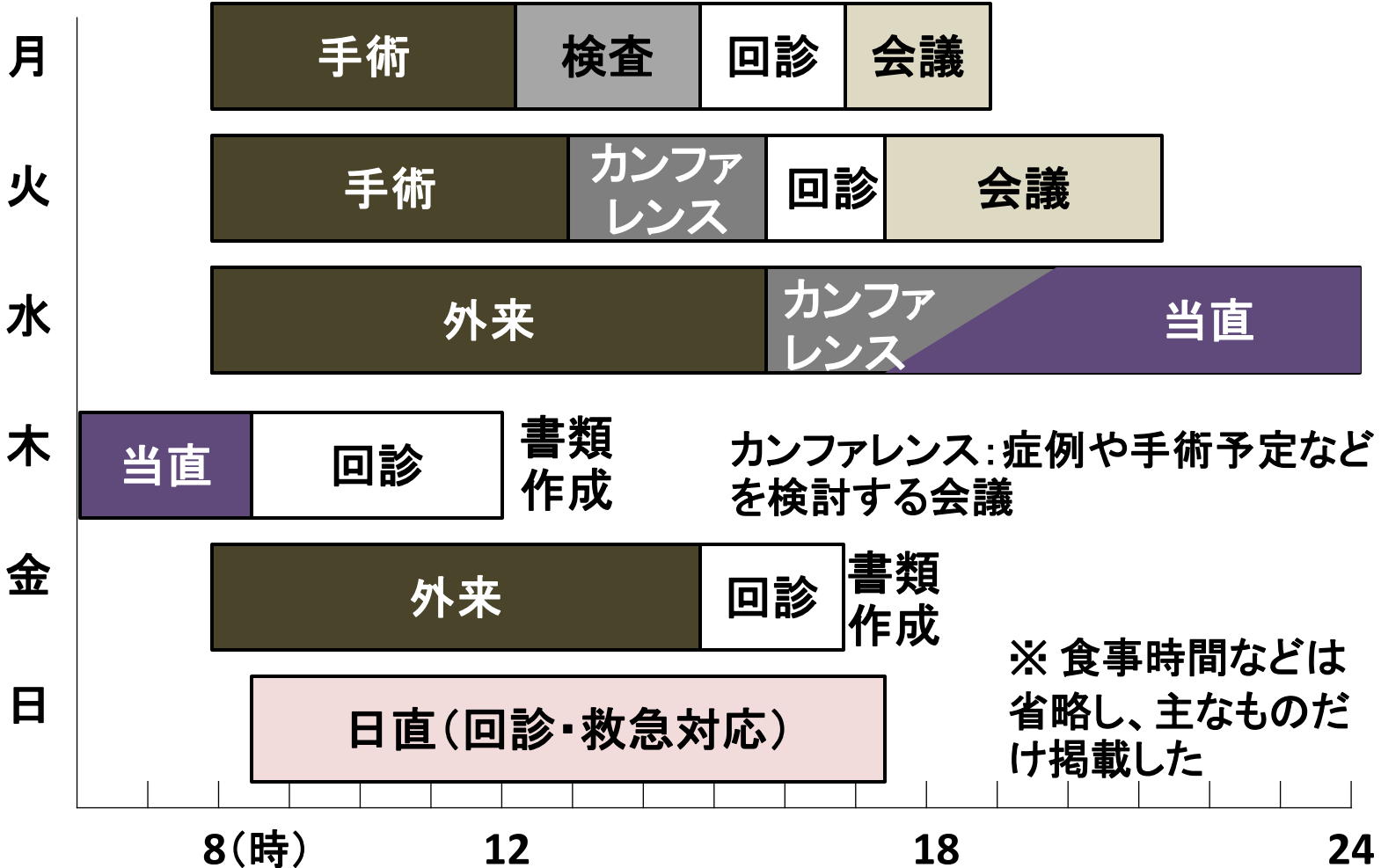
2009年7月23日



株式会社 豊里システムソリューション

# ある外科医の1週間(土曜休み)

2009年7月4日付け読売新聞朝刊から引用



# 医を 文える

午前7時半、京成津田原駅近くにある若志野第一病院の1日は、三機院長の診察から始まる。都心で通勤通学する住民が多いため、平日の通勤が難しいサウリーマンや学生向けに、三機院長が日曜を除く毎日、15年以上続ける「早朝診察」だ。

小雨が降ることも、常に10人以上が診察待ちの状態。近くに住む男子高校生は、雨活動で負傷した左腕を診てもらった。見知らぬ風気共商商寮を借りましようという声をかけられ、すぐに検査をうけて病室へ移動された。

古い100坪の病院で暮る者あれば必ず必ずの限点とし、夜間の救急も積極的に受け入れ、地域医療に貢献して、三機院長は「公的病院に救急を任せ、民間病院は主役がなくても、可能な限り受け入れたい。その様式を他社とは違っている」と述べた。

## 銚電「車両オナー」募集

100万円 購入費用

# 京葉

【京葉】  
千葉市中央区  
047-406-1461  
http://www.kaiyabank.co.jp

ちば建労  
047-406-1461  
http://www.kaiyabank.co.jp

## 勤務医

### 人手不足たまる疲労

勤務医の労働実態について、県内の公立病院で指導医を務める外科医A氏は「1日中は手術や診察があり、当直は一睡もできないことも、翌日も朝から病棟の回診や書類作成などで、夜まで仕事になってしまふ。36時間連続勤務も珍しくないで打ち明けられる。この外科医の6月のある1週間の勤務を見ると、当直明けは手術の患者が、週平均の労働時間は59時間以上が24%に達した。長時間労働の要因(複数回答、以下同じ)では、「患者数の増加、診療内容の変化」(46%)と、「会議、書類作成などの診療外業務」(42%)が多く、「患者への説明」も24%に上った。

勤務医の労働実態について、県内の勤務医4687人に実施した調査(有効回収率32%)によると、週平均の労働時間は59時間以上が24%に達した。長時間労働の要因(複数回答、以下同じ)では、「患者数の増加、診療内容の変化」(46%)と、「会議、書類作成などの診療外業務」(42%)が多く、「患者への説明」も24%に上った。

県医師会が2008年7月、県内の勤務医4687人に実施した調査(有効回収率32%)によると、週平均の労働時間は59時間以上が24%に達した。長時間労働の要因(複数回答、以下同じ)では、「患者数の増加、診療内容の変化」(46%)と、「会議、書類作成などの診療外業務」(42%)が多く、「患者への説明」も24%に上った。

「医師会が2008年7月、県内の勤務医4687人に実施した調査(有効回収率32%)によると、週平均の労働時間は59時間以上が24%に達した。長時間労働の要因(複数回答、以下同じ)では、「患者数の増加、診療内容の変化」(46%)と、「会議、書類作成などの診療外業務」(42%)が多く、「患者への説明」も24%に上った。



## 血管外科専門の、ある院長先生からのメール

近年、診療所は開業ラッシュですが、その多くは電子カルテを導入していると思います。電子カルテの導入の理由は医療事務の簡素化とペーパーレス化になりますが、実際に電子カルテを導入してみるとペーパーレス化とはほど遠い状態となってしまいました。各種検査所見や保険証のコピー、紹介状やその返事、手術や麻酔記録など大量の書類が発生し、カルテホルダーが大量に必要で事務室はカルテで占拠されてしまいました。ご存じのように当院は非常に狭いので大量のカルテの置き場所はなく、また患者さん来院のたびにカルテを出して運ぶ手間も馬鹿になりませんでした。その際に、他院でScanSnapスキャナーを使用しているとの話を聞き当院に導入してやっとペーパーレス化を達成できたという経緯があります。

電子カルテにはスキャナーが必須だと思うのですが、実際には電子カルテ会社はその重要性をあまり認識しておらず、PDFの閲覧機能やスキャナーとの連携に関しては非常に使いにくい仕様になっています。そのような状況を改善していただけたらという期待があります。

医師の負担軽減

事務員の負担軽減



効率化とスピードアップ

病院経営のコストダウン

**楽2**コイブコリ

## 楽2ライブラリ

### 医療分野での活用シーン

紙カルテを電子化してそのまま運用

電子カルテ導入予定で過去のカルテを電子化

電子カルテと連携して運用 ※

ホームページからぱらぱらめくりで情報発信

※ 電子カルテから楽2ライブラリを呼び出すボタンが必要になり、電子カルテ開発会社との調整が必要となります。

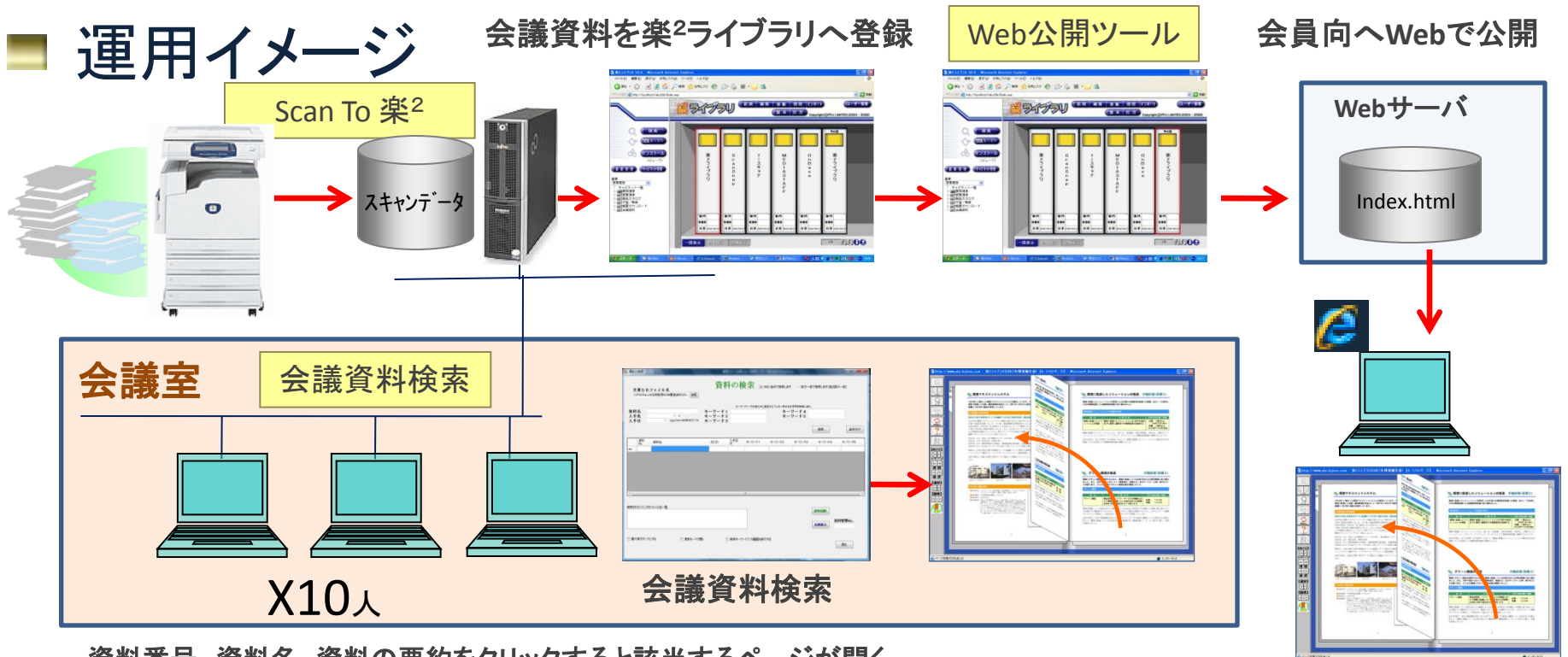
## 楽<sup>2</sup>ライブラリでペーパーレス会議

### ■ 導入前の課題



- 厚労省・日本医師会・県医師会からの通達文書が膨大で管理が大変
- 月2回の理事会で配布する資料のコピー代  
X2
- 過去の通達文書を探し出すのに手間がかかる

### ■ 運用イメージ



資料番号、資料名、資料の要約をクリックすると該当するページが開く

会議の進行に合わせて紙の資料を扱う感覚でぱらぱらめくり

## 楽2ライブラリ

簡単な操作でカルテを参照できる

同意書、入院計画書、紹介状などの文書を、  
患者単位で簡単に閲覧できる

インフォームドコンセントとしても利用可能

ペーパーレス会議のツールとしても利用可能

情報発信ツールとして病院のイメージアップ



医療現場の業務効率改善とスピードアップを図り  
病院経営のコストダウンを支援します。